



2025 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 東亜道路工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 森下 協一
(コード番号 1882 東証プライム)
問合せ先 執行役員経理部長 戸倉 克夫
(TEL. 03 - 3405 - 1812)

2026 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025 年 5 月 9 日に公表しました 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想と本日公表の実績との差異について、下記の通りお知らせいたします。

記

● 2026 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異

(2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日) (百万円未満切捨て)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 52,000	百万円 900	百万円 960	百万円 550	円 銭 11.88
実 績 値 (B)	51,459	406	552	469	10.19
増 減 額 (B - A)	△540	△493	△407	△80	
増 減 率 (%)	△1.0	△54.8	△42.5	△14.6	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	53,881	177	321	602	13.04

1. 業績予想と実績の差異の理由

売上高につきましては、建設事業において一部手持工事の進捗に遅れが生じたことに加え、製造販売・環境事業においてストレートアスファルトの仕入価格が当初の想定を下回り、その影響により販売価格も想定を下回ったことから、当初予想を下回る結果となりました。

営業利益および経常利益につきましては、前年度実績を上回ったものの、建設事業では資材価格および人件費の高騰による工事原価の上昇、また製造販売・環境事業においては出荷量の減少に加え、エネルギー価格および運搬費用等の高騰の影響を受け、当初予想を下回る結果となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、投資有価証券売却益の計上があったものの、上記の要因により予想数値を下回る結果となりました。

2. 通期業績予想および配当予想について

2026年3月期通期の業績予想および配当予想につきましては、第3四半期以降、建設事業において手持工事量が前期比で増加しており、進捗も概ね順調に推移する見込みであります。また、製造販売・環境事業におきましても、手持工事の増加に伴う出荷量の増加を見込んでおります。

さらに、製造コストの増加分を販売価格に反映させる取り組みも一段と進展していることから、現時点では2025年5月9日に公表いたしました予想数値を変更しておりません。

今後の業績動向を注視し、修正が必要と判断される場合には、速やかに適切な開示を行ってまいります。

※上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上